

柔道整復師国家試験に出題された問題の傾向

—解剖学に着目して—

角田 佳貴, 田村 哲也

了徳寺大学・健康科学部整復医療・トレーナー学科

要旨

柔道整復師国家試験（以下、柔整国試）は現在まで24回実施されている。第24回柔整国試においては受験者数が7122名で合格率は64.3%であった。柔道整復師を養成する学校において、最終目的は国家試験合格による免許取得にある。当大学においても合格率100%を目指して国家試験対策に取り組んでいる現状があり、教科ごとの出題傾向の把握は必要不可欠となった。柔整国試は必修問題30問と一般問題200問で構成されている。解剖学は柔道整復理論に次ぐ問題数の多い科目であり、国試対策においても大変重要な科目として位置づけられている。本調査では第14回～第24回までの柔道整復師国家試験科目・解剖学における出題傾向を明らかにすることを目的とした。方法は柔道整復師教科ガイドラインに沿った全国柔道整復学校協会監修の解剖学の目次に倣い分類し、出題数を必修問題と一般問題に分けて調べた。結果は必修問題で最も多く出題されていたのは骨格系であった。次いで筋系、心脈管系の順であった。一般問題で最も多く出題されていたのは筋系であった。次いで骨格系、末梢神経系の順であった。今回の結果から解剖学では柔道整復師の業務の特性を考慮した問題が出題されていることがわかった。今後は解剖学の出題傾向に対応した授業や問題演習を行うことで、国家試験合格に向けた学習の質の向上につなげていきたいと考える。

キーワード：柔道整復師国家試験, 解剖学, 出題傾向

Trend of Questions of National Examination for Judo Therapy Practitioners: -Special Attention paid to Anatomy-

Yoshiki Tsunoda, Tetsuya Tamura

Department of Judothrapy and Sports Medicine, Faculty of Health Sciences, Ryotokuji University

Abstract

The national examination for judo therapy practitioners has been carried out 24 times to date. In the 24th national exam, the number of examinees was 7122 and the passing rate was 64.3%. The objective for educational institutions is for the students to pass the national examination and acquire their license. At our university as well, we are currently working on national examination measures aiming at a passing rate of 100%, so comprehension of the questions in each subject has become indispensable. The national exam consists of 30 questions on compulsory issues and 200 questions on general issues. Judo therapy related theoretical questions appeared most frequently followed by anatomical based questions. The purpose of this survey is to clarify the tendency of anatomy based question in the national examination from the 14th to the 24th. The method is classified according to the table of

contents of the anatomical textbook supervised by the National Judo Doctor School Association according to their guidelines. We examined the number of questions divided into compulsory questions and general questions. In the compulsory questions, those referring to the skeletal system was most frequently asked. Then the muscular system and the cardiovascular system followed descending in frequency in the compulsory section. It was the problem of the musculature based question appeared with the most frequency followed by the skeletal system, then the peripheral nervous system in the general section of analyzed exams. Based on the results of this study, it was found that there was a high tendency towards anatomical based Judo therapy questions occurred regularly during the examined. In the future, I would like to improve the quality of learning towards passing the national exam by giving the students exercises corresponding for an anatomical nature.

Keywords: national examination, anatomy, question trend

I. 背景

柔道整復師国家試験（以下、柔整国試）は現在まで24回実施されている。第1回柔整国試では1066人、第24回柔整国試では7122人が受験をしており、第1回に比べて受験者は著しく増加している¹⁾。

柔整国試の合格率は、第24回柔整国試では64.3%であった。第1回柔整国試は90.3%、第11回柔整国試は85.9%であったことから²⁾、徐々に合格率が低下しているといえる。(図1)。柔道整復師を養成する学校において、最終目的は国家試験合格による免許取得にある。当大学においても合格率100%を目指して国家試験対策に取り組んでいる現状があり、教科ごとの出題傾向の把握は必要不可欠となった。

柔整国試は必修問題30問と一般問題200問で構成されている。出題科目は、解剖学、生理学、運動学、病理学概論、衛生学・公衆衛生学、一般臨床医学、外科学概論、整形外科学、リハビリテーション医学、柔道整復理論、関係法規である。合格基準は必修問題が30問中の8割にあたる24問以上、一般問題は200問中の6割以上にあたる120点以上取得することで合格となる³⁾。

その中で解剖学（必修問題4問、一般問題30問）、生理学（必修問題3問、一般問題25問）、柔道整復理論（必修問題14問、一般問題45問）は問題数が多く、国家試験問題の約50%を占めている。解剖学は柔道整復理論に次ぐ問題数の多い科目であり、可否に関わる科目として国試対策においても大変重要な科目として位置づけられている。過去、柔道整復理論については必修問題^{2) 4)}と一般問題⁵⁾それぞれの出題傾向が調査されている。しかし、解剖学の出題傾向についての調査は見当たらない。解剖学の出題傾向を把握することで効率的な国家試験対策が可能となることが考えられることから、その詳細を調査し報告することとした。

II. 目的

第14回～第24回までの柔道整復師国家試験科目・解剖学における出題傾向を明らかにすることである。

III. 方法

柔道整復師教科ガイドラインに沿った全国柔道整復学校協会監修の解剖学の目次に倣い、1. 人体解剖学概説、2. 運動系、3. 脈管系、4. 内臓系、5. 内分泌系、6. 神経系、7. 感覚器、8. 体表解剖、9. 映像解剖と分類し、出題数を必修問題と一般問題に分けて調べた。試験問題は選択肢が4つであり、選択肢間で合致する項目が異なる場合、1つの選択肢を0.25として換算した。

	受験者数	合格者数	合格率
第1回	1,066名	963名	90.30%
第2回	1,194名	1,059名	88.70%
第3回	1,213名	1,005名	82.90%
第4回	1,276名	1,063名	83.30%
第5回	1,296名	1,137名	87.70%
第6回	1,251名	1,071名	85.60%
第7回	1,266名	1,091名	86.20%
第8回	1,260名	1,024名	81.30%
第9回	1,338名	1,041名	77.80%
第10回	1,439名	1,128名	78.40%
第11回	2,454名	2,108名	85.90%
第12回	3,000名	2,215名	73.80%
第13回	4,122名	2,902名	70.40%
第14回	5,127名	3,755名	73.20%
第15回	5,944名	4,416名	74.30%
第16回	6,702名	5,069名	75.60%
第17回	6,772名	4,763名	70.30%
第18回	7,156名	5,570名	77.80%
第19回	6,625名	4,592名	69.30%
第20回	6,754名	5,227名	77.40%
第21回	6,503名	5,438名	68.20%
第22回	7,102名	5,349名	75.30%
第23回	6,858名	4,503名	65.70%
第24回	7,122名	4,583名	64.30%

図1. 柔道整復師国家試験の受験者数, 合格者数, 合格率

IV. 結果

必修問題について, 最も多かったのは12問出題されていた骨格系であった. 次いで筋系が8.5問, 心脈管系が5問であった (図2).

一般問題について, 最も多かったのは34.5問出題されていた筋系であった. 次いで骨格系が30問, 末梢神経系が28.5問であった (図3).

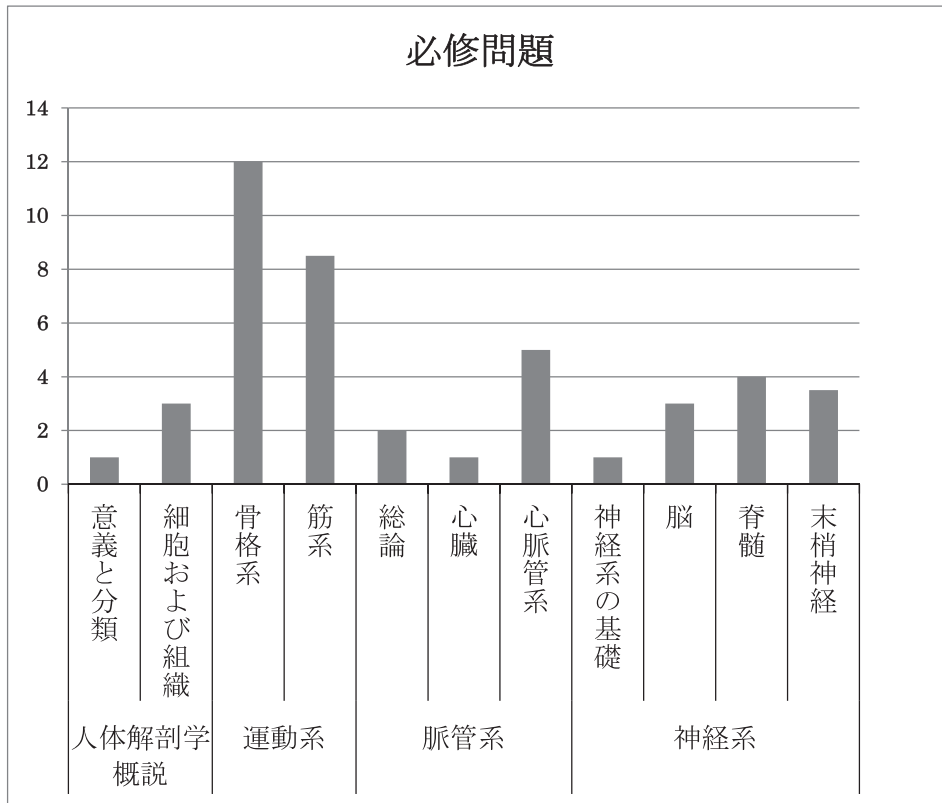


図2. 必修問題の出題数

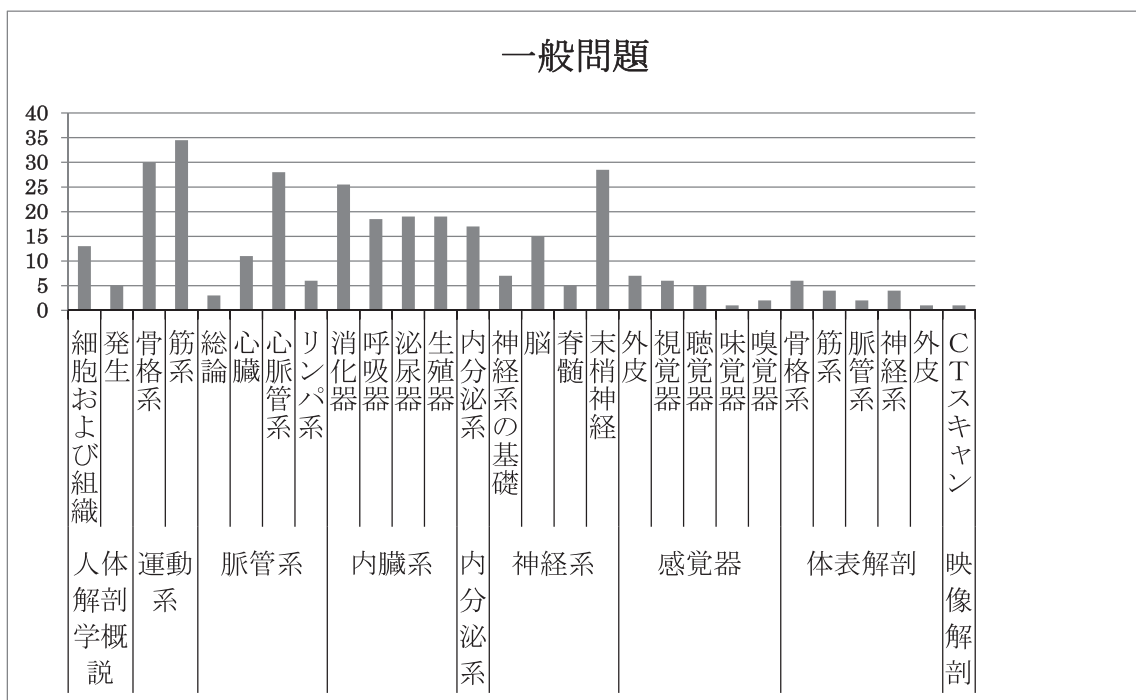


図3. 一般問題の出題数

V. 考察

第14～24回柔整国試の必修問題では骨格系, 筋系, 心脈管系の順で問題が多く出題されており, 一般問題では筋系, 骨格系, 末梢神経系の順で多く問題が出題されていた。

柔道整復師の業務は骨折, 脱臼, 打撲, 捻挫, 挫傷の施術を行うことである⁶⁾。全国柔道整復学校協会監修の解剖学においては柔道整復師の特性を考慮して, 骨・関節・筋の記載に重きをおいたとある⁷⁾。このことから柔道整復師にとって, 骨格系, 筋系の基礎知識は施術を正確に行う上で大変重要であり, 多くの出題がされていたと推察される。

また, 骨折や脱臼では合併症として神経損傷や血管損傷などが挙げられる。例えば肩関節周辺の骨折の40%以上を占める鎖骨骨折では腕神経叢や鎖骨下動静脈の損傷を起こしやすい⁸⁾といわれている。小児肘関節周辺の骨折の60%占める上腕骨顆上骨折では正中神経損傷, 上腕動脈損傷を起こしやすい⁸⁾といわれており, 柔道整復師の施術には, 末梢神経や動脈損傷の合併症が生じやすい。このことから心脈管系や末梢神経系の基礎知識を確認するための問題が出題されていると考える。

今回の結果から国家試験科目である解剖学では柔道整復師の業務の特性を考慮した問題が出題されていることがわかった。今後は解剖学の出題傾向に対応した授業や問題演習を行うことで, 国家試験合格に向けた学習の質の向上につなげていきたいと考える。

文献

- 1) 柔整ホットニュース：第24回柔道整復師国家試験合格者数・合格率, 柔整ホットニュースホームページ, <https://www.jusei-news.com/gakusei/topics/2016/03/20160329.html> (2016.12.23 11:00アクセス)
- 2) 松本楊, 岡田隆, 岡村知明ほか (2015) 柔道整復国家試験必修問題に出題された柔道整復理論の出題傾向.了徳寺大学研究紀要.9, 97-101.
- 3) 厚生労働省：第24回柔道整復師国家試験合格発表について, 厚生労働省ホームページ, <http://www.mhlw.go.jp/general/sikaku/successlist/2016/siken16/about.html> (2017.1.13 14:30アクセス)
- 4) 服部辰広, 久保山和彦, 猪越孝治 (2016) 第13回～23回柔道整復師国家試験における必修問題の出題分析－柔道整復理論154問の分析より－.日本体育大学紀要.45, 2, 113-117.
- 5) 田辺達磨, 松本楊, 大澤裕行 (2015) 柔道整復師国家試験に出題された問題の傾向.了徳寺大学研究紀要.9, 79-83.
- 6) 社団法人全国柔道整復学校協会監修 (2009) 関係法規改訂第2版, 医歯薬出版株式会社, 東京.
- 7) 社団法人全国柔道整復学校協会監修 (2009) 解剖学改訂第2版, 南江堂. 東京.
- 8) 平澤泰介, 北條達也, 橋本俊彦監修 (2010) 柔道整復外傷学ハンドブック【上肢の骨折・脱臼】医道の日本社, 神奈川, 2-47.
- 9) 医療系国家試験の情報：合格率柔道整復師国家試験, 医療系国家試験の情報ホームページ <http://goodfriendkf.xsrv.jp/iryous/jsgr/> (2016. 12. 23 10:00アクセス)

(平成28年11月30日稿)

査読終了日 平成29年1月24日